

令和4年度 第2学期始業式 校長講話

おはようございます。夏休みが終わり、本日から2学期が始まります。大きな事故の報告はなく、安心したところですが、2学期は多くの行事が予定され、3年生は進路に向けた大事な学期となります。体に気をつけながら頑張りましょう。

今日は内容が多いのでパワーポイントを使いながら話します。

○ 宮崎県スポーツ協会からのお知らせ

本題に入る前に、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会、略して国スポ・障スポへの協力につきまして、宮崎県スポーツ協会からのお知らせをします。

2年後の令和6年度に国スポ・障スポの九州ブロック大会が宮崎県で開催されます。日南市は会場にはなっていませんが1年生には少年種目への参加が期待されています。

そして、5年後の令和9年には、国スポ・障スポが宮崎県で開催されます。

日南市は6種目の会場を予定しています。

皆さんが卒業後のことになりますが、これから国スポ・障スポの話題が増えてくるとお思いますので、機会があれば何らかの形で協力をお願いします。

それでは本題に入ります。

1 各種大会や地域活動について

この夏休み中にも全国、九州、県大会等の各種大会で頑張った生徒がたくさんいます。結果に関係なく、結果を出そうと努力した日々の活動に価値があります。これからの学校生活や卒業後の人生に経験や想いを活かしてほしいと思います。

また、地域貢献活動として、日南市内のJR駅清掃には100名を超える生徒が応募し、100名近い生徒が参加してくれました。本当に有り難いと思います。

その他、地域連携活動として「日南から目指せ起業家・にちなん企業体験プログラム」へ参加してくれた生徒がいます。経営者になるためのセミナーですが、宮崎日日新聞に地域農業科2年のYさんのコメントが掲載されていました。

日南振徳高校生には地域から大きな期待が寄せられています。このような活動をとおして日南市が日南振徳高校を応援する町になれば・・・と思っています。

2 自転車の乗り方について

先日、県の校長会があった際、宮崎県警察本部の方が出席されて、高校生に説明しておいてくださいと依頼があった内容についてお話しします。

令和3年度に宮崎県内では自転車運転で19件の検挙があったそうです。そのうちの18件は交通事故を伴うものでした。

また、「検挙」ではなく、「注意」や「指導」として2533件の「指導警告票」

を発行したそうです。その「指導警告票」の内容は、並進と携帯電話使用が多く、4割を高校生に発行したとのことでした。

続いて、「令和4年4月 道路交通法の改正」について説明があり、「すべての自転車利用者に対する乗車用ヘルメットの着用努力義務」が1年以内に施行されるとのことでした。努力義務はいずれ「義務化」される可能性があるものです。

以上のことを踏まえまして、宮崎県警察本部では、令和4年から5年間、特に自転車指導が必要とされている地区・路線を指定し、指導を強化するそうです。それは、県内12警察署でそれぞれ強化が必要と思われる地区・路線の1カ所を指定するものですが、日南警察署管内で指定されたのは、今町交差点～日南振徳高校前です。今町交差点から日南振徳高校までの約900mということで、ほぼ日南振徳高校生のために指定されたようなものですので、その期待に応え、日南市民の模範となる路線にしてください。

そして、この時に強調されたのは、自転車に対する認識を変えて欲しいということでした。

まず、自転車は道路交通法で車両に規定されています。しかし、ヘルメット着用が義務化されておらず、歩道を走行している先進国は日本だけと聞きました。外国では自転車は車道を走行する車両というのが常識なのだそうです。

次に、自転車対歩行者の事故では自転車の法令違反が100%であり、自転車対歩行者事故の43%が歩道上で発生しています。法令違反の内容はいろいろありますが、「小学生が急に飛び出してきて避けられなかった」という場合でも、人対自転車の場合は「その他の安全運転義務」違反で自転車の過失が100%となります。

そして、ヘルメットを着用していない人の致死率は着用時と比べて約3倍になるようです。

このように自転車にはデメリットが目立ちます。特に、自動車と歩行者のどちらにも交通妨害と言われる存在で、学校には苦情が来ることもあります。

しかし、メリットの方が多いと思います。免許がいらないし、地球に優しい乗り物です。また、健康増進、体力増強というすばらしいメリットがあります。

現在65歳の方ですが、元・広島東洋カープ投手の北別府学さんは、入団直後からプロとして通用する足腰は高校時代の自転車通学で鍛えられたと話しておられました。片道20数kmを毎日自転車で登下校し、3年間無欠席だったそうです。

3 新型コロナウイルス感染症防止対策について

新型コロナウイルスの感染拡大は止まっていますが、「授業や学校行事等の活動は可能な限り実施。ただし、最大限の感染対策に取り組むこと」という県教育委員会からの通知が出ています。

「最大限の感染対策」とありますが、マスク着用が基本となります。マスク着用

については、常時着用が原則です。併せて、「換気と手指等の消毒」が感染対策には有効であるとされています。ただし、暑い日が続いていますので着用しなくてもよい場合は外してください。着用しなくてもよい場合については先生の指示に従うようお願いいたします。

登校については、これまでと変わらず、体調に不安がある場合は登校を控えて医療機関を受診してください。

全校生徒の皆さんには、感染拡大防止の協力をお願いします。

4 校訓に相応しい生徒を目指そう

本校の校訓は潔己・至道・振徳です。潔己は論語という書物から引用された言葉です。「評判の悪い村から来た少年ではあるが、孔子は「学びに向かう清らかで純真な心」をみて入門を許した」という物語に潔己ということばが書かれています。

至道は礼記という書物から引用された言葉です。「立派な生き方を示した教えがあっても学ばなければ、その素晴らしさはわからない」という教えに至道という言葉が書かれています。

そして学校の名前にも使われている振徳は孟子という書物から引用された言葉です。その引用部分の少し前に「飽食煖衣、逸居して教へなければ、則ち禽獸に近し」という文章があります。これは「腹一杯食べ、暖かい着物を着て、不自由なく暮らしていても、教育を受けなければ鳥や獣と同じである。」という意味です。

また、緑色で示された部分については、年上と年下の間には順序、友だちの間には信頼がなくてはならないと書かれています。これが、鳥や獣とは違う存在という意味での「人の人たる道」の基本です。

そして、飫肥藩の藩校「振徳堂」では指導者となる人材を教育していましたが、その続きに「間違っている者は正しく導き、心の曲がっている者はまっすぐにしてやり、民を助けて本来人が持っている良い心を自覚させ、その上で恩恵を施して民をにぎわしてやる人にならねばならない」と書かれている文章から振徳という文字が引用されています。

「振徳堂」の精神に学ぶ日南振徳高校生は、「人の人たる道の修業に努め、広く社会に貢献し、心豊かで思いやりのある生徒」であることを県民から期待されています。

○ まとめ

今日の講話の要点をまとめます。

- ・ 結果に関係なく、結果を出そうと努力した日々の活動に価値があります。部活動の成果を、これからの学校生活や卒業後の人生に経験や想いを活かしましょう。
- ・ 日南振徳高校生には地域から大きな期待が寄せられています。地域から応援さ

れる学校にしましょう。

- ・ 自転車は道路交通法で規定されている車両です。自転車に対する認識を変えましょう。
- ・ 授業や学校行事等の活動を可能な限り実施するために最大限の感染対策に取り組みましょう。
- ・ 「人の人たる道」の修業に努め、広く社会に貢献し、心豊かで思いやりのある生徒をめざしましょう。
- ・ 2学期は「学校や地域のためになる」ということを行動で示しましょう。

2学期は振徳祭が予定されています。先程、生徒会の新しい役員・リーダーを任命しました。役員以外の皆さんは生徒会の会員であり、役員のフォロワーです。

生徒会長をはじめとする役員の積極的なフォローをお願いします。

以上で、講話を終わります。

令和4年8月26日

宮崎県立日南振徳高等学校

校長 山下 勉